

水田転換畑に適した白ネギ品種 ‘夏扇パワー’

1 情報・成果の内容

(1) 背景・目的

県東部の白ネギ生産は水田転換畑における栽培の占める割合が高く、砂畑・黒ボク畑と比較して粘土質で排水不良のほ場が多い。そこで県内の砂畑、黒ボク畑で導入されている品種や有望品種の水田転換畑での適応性について検討し、湿害に強く、生育、収量が良好な品種 ‘夏扇パワー’ を選定した。

(2) 情報・成果の要約

‘夏扇パワー’ は水田転換畑での栽培において肥大性に優れ、上物収量が多い。

2 試験成果の概要

- (1) 水田転換畑で白ネギ有望品種を栽培し収量・生育を比較検討した結果、‘夏扇パワー’ は生存率が安定して高く、上物収量が慣行品種である ‘夏扇4号’ と同等以上であり、2L+L規格の割合が他品種より高く、肥大性に優れた(図1、表1)。
- (2) ‘夏扇パワー’ は過湿条件下での収量性が比較的高く、湿害による減収も他品種より少なかった(表2)。

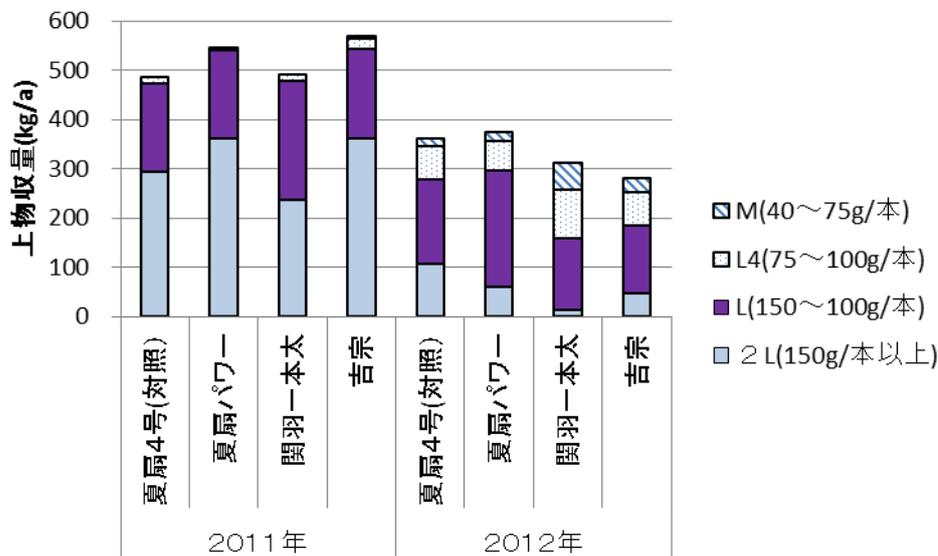


図1 年次別収量特性 (2011、2012)

注) 2011年12月7日(転作初年度)、2012年12月26日(転作2年目)調査実施。

上物はM規格以上を示す。

表1 年次別生存率 (2011、2012)

| 品種 | 生存率 (%) | |
|----------|---------|-------|
| | 2011年 | 2012年 |
| 夏扇4号(対照) | 78 | 83 |
| 夏扇パワー | 86 | 86 |
| 関羽一本太 | 97 | 89 |
| 吉宗 | 98 | 77 |

注)2011年12月7日、2012年12月26日調査実施。

生存率=収穫時の本数/定植時の本数×100 (%)

表2 過湿条件下での生育・収量特性(2012)

| 品種 | 対照区 | | | | かん水区 | | | |
|----------|-------------|------------|----------------|--------------|-------------|------------|----------------|--------------|
| | 葉鞘径 (mm) | 一本重 (g) | 上物収量 (kg/a) | 2L+L率 (%) | 葉鞘径 (mm) | 一本重 (g) | 上物収量 (kg/a) | 2L+L率 (%) |
| 夏扇4号(対照) | 18.4 | 176.9 | 360 | 76.6 | 18.0 | 172.3 | 375 | 77.7 |
| 夏扇パワー | 17.7 | 162.0 | 374 | 78.4 | 17.8 | 174.6 | 382 | 76.6 |
| 関羽一本太 | 16.8 | 136.8 | 312 | 50.3 | 16.8 | 125.8 | 302 | 40.9 |
| 吉宗 | 18.1 | 150.9 | 280 | 63.3 | 18.1 | 124.7 | 304 | 47.3 |

注)2012年12月26日調査実施。上物はM規格以上を示す。2L+L率=2L+L重量/上物重量×100(%)

対 照 区：白ネギ連作2年目ほ場。過湿条件下。

かん水区：白ネギ連作2年目ほ場。過湿条件下に加えて7～8月に畝間かん水を計3回実施。

3 利用上の留意点

- (1) 水田転換畑(灰色低地土)における、5月上旬定植の結果である(栽培管理は県東部慣行)。
- (2) 排水不良のほ場では、額縁明渠や弾丸暗渠・広幅心土破碎等の排水対策を徹底する。
- (3) 弓浜砂丘地域(7月どり)、畑作地域(8～9月どり)を普及対象として、夏ネギ有望品種としても選定されている。

4 試験担当者

〔 作物研究室 研究員 小西実 〕